

令和7年1月31日港区令和7年度予算案記者発表

区民の9割がマンション等の共同住宅に住んでいることから、共同住宅に おける防災対策は区にとって重要な課題です。

共同住宅の多くは耐震性を有しているため、区は災害発生時、自宅やその 周辺に被害がない又は被害の恐れがない人には在宅避難を求めていますが、 災害発生時は、建物に被害がなくてもライフラインの停止やそれに伴うエレ ベーターの停止等が想定されます。

災害時の大きな被害や混乱を防ぐため、住民の自助、共助が機能するよう、 共同住宅ごとの防災マニュアルの作成と、それに基づく訓練の支援を行いま す。なお、管理会社が入っている共同住宅では、防災マニュアルの作成まで 要しないことが想定されるため、これまでの防災カルテによるアドバイスも 継続します。

マンション等共同住宅の震災対策の概要

概要

現在

- ●共同住宅への直接訪問による防災カルテ(建物の現状、災害対策、今後必要となる対策の見える化)の作成
- ●防災カルテに基づくアドバイスの実施。

今後

共同住宅の防災力を強化

- ●共同住宅の住民と、災害発生後を見据えたワークショップの実施。
- ●共同住宅ごとの防災マニュアルの作成支援。
- ●防災マニュアルに基づく訓練の実施により、防災マニュアルの実効性を 確保。

支援対象 区内の中高層の共同住宅

実施時期 令和7年4月

問合せ



課長防災課 井上

☎ 03-3578-2540 (直通)

係 長 防災課 地域防災支援係 大久保

☎ 03-3578-2516 (直通)